

令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	420	地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるしくみをつくる
施策	421	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する
施策の目標	多くの区民が地域福祉について理解し、地域福祉の理念や活動が区民に知られ、さまざまなプラットフォームにより地域の福祉課題の解決が図られ、地域で暮らす住民同士の支えあい、助けあい活動が積極的に行われています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	15				20.0					25.0
実績	14.2				10.0					
指標名	小地域福祉活動・ふれあいサロン等実践地区数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	44				80					64
実績	56				54					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
支えあい・助けあいの推進、地域に存在する多様な主体の連携・協働による地域づくりを進めるため、多くの地域住民が参加しやすいしくみづくりや若年層を取り込む工夫が求められている。地域住民同士の自主的な支えあい活動である「小地域福祉活動」や地域の誰もが参加できる気軽な交流の場である「ふれあいサロン」等の拡大に取り組むと同時に、地域づくりの核となる人材の育成が必要であることから、幅広い世代が地域福祉の担い手として活躍できるよう支援する。	R2	888,105
	R3	708,505
	R4	703,646

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	4年度は3年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大による影響はあったが、後半は徐々に訪問活動、サロン活動等が増えた。 また、「包括的支援体制整備事業」については、4年度から本格実施し、「包括的な相談・支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の体制強化を図った。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
地域共生社会の実現を目指して、令和3年度に「第4次墨田区地域福祉計画の策定」を行った。今後は国の施策である重層的支援体制整備事業を活用し、各福祉分野の結節点となる多機関協働事業や地域福祉プラットフォーム等を充実させ、地域資源を生かした包括的支援体制の強化を図っていく。	
【今後の具体的な方針】	
民生委員・児童委員や地域福祉活動者への個別支援を続けるとともに、重層的支援体制整備事業を活用した包括的な支援体制の構築を図る。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
		評価対象年度				
1	地域福祉計画推進事業費	306	6,543	6,849	100	現状維持
					未	令和4年度
2	包括的支援体制整備事業	25,193	32,716	57,909	6	現状維持
					6	令和4年度
3	すみだ福祉保健センター 管理運営事業	443,091	1,636	444,727	80	現状維持
					未	令和4年度
4	社会福祉協議会補助金	203,800	818	204,618	61	現状維持
					52	令和4年度
5	民生・児童委員協議会等 経費	6,306	10,181	16,487	90	現状維持
					80	令和4年度
6	民生・児童委員施設見学会	0	0	0	120	現状維持
					0	令和4年度
7	すみだボランティアセンター 管理運営経費	24,550	3,294	27,844	100	現状維持
					71	令和4年度
8	すみだ原爆被害者の会 補助金	320	818	1,138	15	現状維持
					16	令和4年度
9	すみだひとり親 さくら会補助金	80	818	898	15	現状維持
					25	令和4年度
10						
11						
12						

令和5年度 事務事業評価シート

施 策	421	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する	部内優先順位
事 業 名	地域福祉計画推進事業費		1
目 的	地域住民等の参加を得て、地域のさまざまな課題を明らかにするとともに、その解決にむけたしくみをつくる「地域福祉計画」を策定し、「地域共生社会の実現」に向けた地域福祉を推進する。		主管課・係（担当）
			厚生課厚生係
			03-5608-1163
対 象 者	区民、区、社会福祉法人、その他地域福祉関係機関		
根 拠 法 令	社会福祉法		
関 連 計 画	墨田区地域福祉計画推進協議会に関する要綱 墨田区地域福祉計画推進本部設置要綱		
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2
事 業 内 容	<p>○第4次墨田区地域福祉計画の進捗管理 第3次計画が平成22年度～令和2年度の計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて次期計画の策定を1年先送りしたため、令和3年度に令和4年度からの計画を策定した。</p> <p>○墨田区地域福祉計画推進協議会・墨田区地域福祉計画推進本部の開催 計画の推進、計画の策定にあたり、区と関係者が協議するための「墨田区地域福祉計画推進協議会」を開催する。また、効果的な推進を図るための区内部組織である「墨田区地域福祉計画推進本部」を開催する。</p> <p>○墨田区地域福祉・ボランティアフォーラムの開催 地域福祉の推進とボランティアの日の啓発を兼ねたフォーラムを開催する。</p>		
経 過	開始年度	平成5年	終了予定
	<p>○墨田区地域福祉計画の策定 平成5年度 第1次墨田区地域福祉計画を策定 平成12年度 第2次計画の策定 平成17年度 第2次計画の改定 平成22年度 第3次計画の策定 平成27年度 第3次計画の改定 令和2年度 第4次計画策定作業を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期された。 令和3年度 第4次計画(令和4年度～令和8年度)策定</p> <p>○墨田区地域福祉・ボランティアフォーラムの開催 平成23年度に第1回を開催して以来、毎年開催している。(令和2年度は中止)</p>		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項	地域福祉計画とは、地域住民の支えあい・助け合いの推進、及び地域に存在する多様な主体の連携・協働による地域づくり等の計画であるため、福祉分野の各課に加えて、関連する各課にも協力を仰いで策定している。		

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		777	776	5,489	3,586	509	695
A.決算額（令和5年度は見込み）		462	492	1,070	2,524	306	695
財 源	国						
	都	125	125	125	125	125	125
	その他						
一般財源		337	367	945	2,399	181	570
執行率（％）		59.5%	63.4%	19.5%	70.4%	60.1%	100.0%
B.人コスト			984	882	3,518	6,543	
総事業決算額（A+B）		462	1,476	1,952	6,042	6,849	
予算書P（令和5年度）	P136-3	執行実績報告書P（令和4年度）			P72-3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	委員報酬	556	報酬	委員報酬	226	報酬	委員報酬	429
役務費	郵送料	18	役務費	郵送料	16	役務費	郵送料	16
委託料	計画策定支援委託	1,877	負担金補助及び交付金	フォーラム補助金	64	負担金補助及び交付金	フォーラム補助金	250
負担金補助及び交付金	フォーラム補助金	63						

事業の果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	地域福祉計画推進協議会の開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	3	2	2	2	2
	実績	2	3	2				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	改定がある年度については協議会を3回、計画の実績報告を行う年度については2回開催する。協議会の開催により、他機関との連携を図り、地域福祉計画掲載事業が計画どおりに進んでるかなど、問題を共有することができるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	事業評価がAの割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	令和7年度	目標	100	100	100	100
				実績	99	93	93	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
実績	90	93	未					
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域福祉計画では、各掲載事業をA(計画どおりに進んでいる)B(計画に遅れが生じている)その他(計画の見直し等の必要が生じている場合)で評価をしている。各事業が計画どおり進んでいるかどうか、地域福祉計画が推進されているかの指標の一部となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉計画は、墨田区基本計画の保健・福祉分野の計画である。今後も計画に掲げた取組を計画的に推進していく。

課題・問題点
令和5年度から計画の進捗管理について、各事業に委員の意見欄を設け、主管課が委員の意見を踏まえながら次年度の評価を行うこととした。なお、今後の協議会で、より良い進捗管理の方法について模索していく。

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す				部内優先順位
事業名	包括的支援体制整備事業費				2	
目的	地域共生社会実現のため区民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応し、各相談機関と連携した多機関協働事業を実施し、重層的支援を行う。さらに、社会とのつながりが希薄になっている方等の生活課題の解決のために、地域福祉プラットフォームの機能強化等により、社会参加の支援促進、地域づくりなどを支援する。				主管課・係(担当)	
					厚生課	
					生活支援・相談支援担当	
対象者	複雑化・複合化した生活課題等を抱えた個人及び世帯					
根拠法令 関連計画	社会福祉法					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	4人・墨田区社会福祉協議会	
事業内容	<p>世代・属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を柱として、これらの3つの支援を一層効果的かつ円滑に実施するために、アウトリーチを通じた継続的支援及び多機関協働による支援を新たな機能として強化し、次に掲げる5つの事業を一体的に実施する。</p> <p>(1) 包括的相談支援事業 (2) 参加支援事業 (3) 地域づくりに向けた支援事業 (4) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 (5) 多機関協働事業(支援プランの策定)</p>					
経過	開始年度	令和3年度			終了予定	
	<p>・令和3年度試行事業実施 ・令和2年度まで補助事業として、社会福祉協議会が行っていた「地域福祉プラットフォームの運営」を、令和3年度からは「包括的支援体制整備事業(試行)」として、区が社会福祉協議会に委託して実施 ・令和4年度から国の財政措置を受けて事業本格実施 ・令和4年度重層的支援会議に、ひきこもり対策部会を設置し、事業検討を行った。</p>					
議会質問の状況	<p>[令和2年] ひきこもり対策特別委員会、決算特別委員会、定例会(11月) [令和3年] ひきこもり対策特別委員会、定例会、予算特別委員会、区民福祉委員会、基本計画調査特別委員会 [令和4年] ひきこもり対策特別委員会、定例会、予算特別委員会、区民福祉委員会、決算特別委員会 令和2年度から令和4年度の墨田区議会定例会、ひきこもり対策特別委員会などで、事業スキームや実績などについての質疑応答があった。</p>					
その他特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)					20,991	25,517	36,108
A.決算額(令和4年度は見込み)					20,672	25,193	36,108
財源	国				15,504	18,894	27,081
	都				0	0	0
	その他				0	0	0
一般財源		0	0	0	5,168	6,299	9,027
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.5%	98.7%	100.0%
B.人コスト					35,183	32,716	
総事業決算額(A+B)		0	0	0	55,855	57,909	
予算書P(令和5年度)	P139	執行実績報告書P(令和4年度)			P75-26		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	スーパーバイズ謝礼等	13	報償費	スーパーバイズ謝礼等	0	報償費	スーパーバイズ謝礼等	288
需用費	消耗品費等	239	需用費	消耗品費等	356	旅費	普通旅費	51
役務費	郵送料等	0	役務費	郵送料等	2	需用費	消耗品費等	377
委託料	包括的支援体制整備事業業務委託	20,420	委託料	包括的支援体制整備事業業務委託	24,835	役務費	郵送料等	17
						委託料	包括的支援体制整備事業業務委託	35,375

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	地域福祉プラットフォームの設置件数				単位	か所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		7	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標		3	3	5	5	7
	実績		3	3				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民が訪れやすいよう区内の各エリアに設置することを目標とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	重層的支援会議開催回数				単位	回
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
6		R7	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標			3	6	6	6	6	
実績		3	6					
指標の選定理由及び目標値の理由								
重層的支援会議をとおして、地域資源の開拓、関係機関との連携を強化し、区民の生活課題の解決を図るため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和4年度の事業を検証し、改善を図りながら区民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応する。

課題・問題点

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す	部内優先順位		
事業名	すみだ福祉保健センター管理運営事業		3		
目的	福祉と保健にわたるサービスを総合的に提供するため、墨田区が設置した複合施設。		主管課・係(担当)		
			厚生課厚生係		
			03-5608-1163		
対象者	各事業の基準に該当する区民				
根拠法令 関連計画	すみだ福祉保健センター条例 墨田区障害者生活介護施設の管理運営等に関する条例 墨田区児童デイサービス施設の管理運営等に関する条例				
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1 委託先:墨田区社会福祉事業団
事業内容	1.身体障害者福祉センターB型 2.老人福祉センターA型 3.老人デイサービスセンター(高齢者在宅サービスセンター) 4.障害者生活介護事業(はばたき福祉園) 5.児童デイサービス事業・特定・障害者相談支援事業(みつばち園) 6.健康増進事業 7.機能訓練事業 8.施設維持管理業務				
経過	開始年度	平成元年4月開設		終了予定	
	福祉と保健にわたるサービスを総合的に提供するため、平成元年4月に墨田区が設置した複合施設。平成18年度からは、墨田区社会福祉事業団が指定管理者として施設の維持管理を行っている。令和3年度に、中長期的な施設経営の視点から、施設のあり方について検討し、事業運営の見直しの方向性を定めた。				
議会質問の状況	[令和3~4年区民福祉]みつばち園の相談待ち期間短縮について [平成28年決特]利用者の把握、バリアフリー化について [平成27年決特]施設の活用について				
その他特記事項	福祉サービスを総合的に提供するための複合施設のため、各事業については障害者福祉課、高齢者福祉課等の所管となっている。 令和4年3月23日区民福祉委員会において、令和6年度に開設が予定されている新保健施設や利用者ニーズの変化等、本施設を取り巻く環境が将来的に大きく変化することが想定されるため、中長期的な施設経営の視点から事業運営等の見直しを進めていく旨を報告した。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		481,713	500,629	698,851	475,388	510,931	575,436
A.決算額(令和4年度は見込み)		383,082	456,122	604,091	454,639	495,004	575,436
財源	国						
	都	2,772	3,128	2,752	2,941	3,076	2,697
	その他	328	391	405	372	400	519
一般財源		379,982	452,603	600,934	451,326	491,528	572,220
執行率(%)		79.5%	91.1%	86.4%	95.6%	96.9%	100.0%
B.人コスト			984	984	880	1,636	
総事業決算額(A+B)		383,082	457,106	605,075	455,519	496,640	
予算書P(令和5年度)	P142,P151 5	執行実績報告書P(令和4年度)		P78,P79,P88-5			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	各事業委託料	342,766	委託料	各事業委託料	366,009	委託料	各事業委託料	414,440
工事請負費	計画修繕	9,504	工事請負費	放送設備等工事等	8,399	工事請負費	スプリンクラー等工事等	37,103
負担金補助及び交付金	管理運営費	102,369	負担金補助及び交付金	管理運営費	114,897	負担金補助及び交付金	管理運営費	123,893
			補償補填及び賠償金	補償補填及び賠償金	5,699			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	福祉保健センター利用者数(各事業合計数)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		48000	令和7年度	目標	48000	48000	48000	48000
				実績	53483	57259	55507	54733
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
	実績	44,336	48,342	54,499				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者数が、福祉に対する理解や地域活動への参加促進の度合いにおいて重要であるため。また利用者数を維持していくことを目標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	福祉保健センター満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
80		令和7年度	目標	80	80	80	80	
			実績	82.9	81.3	87.2	80.8	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		80	80	80	80	80	80	
実績	82.5	88.5	未					
指標の選定理由及び目標値の理由								
満足度を指標とすることで、事業実施による効果を見ることができる。(モニタリングによる大変満足+満足の割合)指標設定時において、8割の方に満足していただいているので、これを低下させないよう維持することを目標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開催し多くの方が利用している。福祉サービスを総合的に提供する複合施設であるため、今後も関係各課と連携して事業を展開していく。

課題・問題点
令和3年度に定めた事業運営見直しの方向性を具体化し、専門人材及び施設の有効活用並びに福祉保健サービスの更なる向上を図る必要がある。

補助金 名称	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団運営費補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	社会福祉法人に対する助成に関する条例		厚生課厚生係
補助概要	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団運営のための人件費、事務費等		03-5608-1163
目的	墨田区の出資のもとに設立された団体である「社会福祉法人墨田区社会福祉事業団」運営のため		
対象	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団		
基準			
補助条件	助成対象事業以外の使用不可		
経過	開始年度	昭和63年度	終了予定
	昭和63年10月 社会福祉法人墨田区社会福祉事業団 設立		
議会質問 の状況	[令和3～4年区民福祉]みつばち園の相談待ち期間短縮について [平成28年決特] 利用者の把握、バリアフリー化について [平成27年決特] 施設の活用について		
その他 特記事項	福祉サービスを総合的に提供するための複合施設のため、各事業については障害者福祉課、高齢者福祉課等の所管となっている。 令和4年3月23日区民福祉委員会において、令和6年度に開設が予定されている新保健施設や利用者ニーズの変化等、本施設を取り巻く環境が将来的に大きく変化することが想定されるため、中長期的な施設経営の視点から事業運営等の見直しを進めていく旨を報告した。		

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		115,920	118,966	118,397	122,343	114,582	12,747
決算額（令和4年度は見込み）		89,834	96,622	96,974	102,369	114,582	12,747
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		89,834	96,622	96,974	102,369	114,582	12,747
執行率（％）		77.5%	81.2%	81.9%	83.7%	100.0%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	福祉保健センター職員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		5	令和7年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	5	5	5			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	法人を円滑に運営していくための職員数 現状で利用者の満足度も維持されているため、目標値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	福祉保健センター満足度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		80	令和7年度	目標	80	80	80	80
				実績	82.9	81.3	87.2	80.8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		80	80	80	80	80	80	
実績		82.5	88.5	未				
指標の選定理由及び目標値の理由								
法人の円滑な事業運営は、利用者の満足度と関連するため、これを低下させないように維持することを目標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区が設立した社会福祉法人であるため、今後も円滑な運営と事業展開のための支援をしていく。

課題・問題点
令和3年度に定めた事業運営見直しの方向性を具体化し、専門人材及び施設の有効活用並びに福祉保健サービスの更なる向上を図る必要がある。

施 策	421	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する			部内優先順位
事 業 名	社会福祉協議会補助金				4
目 的	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行うことにより、墨田区内における社会福祉の増進に資することを目的とする。				主管課・係(担当)
					厚生課厚生係
					03-5608-6150
対 象 者	社会福祉法人墨田区社会福祉協議会				
根 拠 法 令	社会福祉法人に対する助成に関する条例				
関 連 計 画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事 業 内 容	<p>地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。</p> <p>(社会福祉協議会の事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉事業、老人福祉事業、障害者福祉事業、車イス貸出事業、緊急援護事業等各事業等 ・生活福祉資金貸付事業、応急小口資金貸付事業 ・すみだボランティアセンター、同分館のボランティア活動推進事業 ・すみだハートライン21事業 ・すみだ福祉サービス権利擁護センターの運営、各種事業 ・小地域福祉活動推進事業(小地域福祉委員会、ふれあいサロン、拠点型ふれあいサロン、おもちゃサロン) ・災害ボランティア活動体制の整備 				
経 過	開始年度	昭和35年		終了予定	未定
	昭和35年 墨田区社会福祉協議会発足 昭和37年 社会福祉法人の認可				
議 会 質 問 の 状 況	[平成25年決特] 社協の生活支援員について				
そ の 他 特 記 事 項					

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	10,128	18,831	238,752	220,335	220,881	221,809
A.決算額(令和5年度は見込み)	10,128	18,831	215,235	197,923	203,800	221,809
財 源	国	1,647	2,246	15,236	5,000	7,000
	都			37,119	25,735	41,444
	その他					
一般財源	8,481	16,585	162,880	167,188	157,293	173,365
執行率(%)	100.0%	100.0%	90.2%	89.8%	92.3%	100.0%
B.人コスト		984	882	880	818	
総事業決算額(A+B)	10,128	19,815	216,117	198,803	204,618	
予算書P(令和5年度)	P137-14(1)		執行実績報告書P(令和4年度)		P73-15(1)	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	197,923	負担金補助及び交付金	補助金	203,800	負担金補助及び交付金	補助金	221,809

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	すみだハート・ライン21の活動件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		5,000	令和7年度	目標	4,550	4,600	4,650	4,700
				実績	4,889	5,233	4,549	3,995
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
	実績	2,931	3,163	3,474				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	すみだハート・ライン21事業は、高齢者や障害者などが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民の参加と協力により家事援助などを提供する有料の会員制在宅福祉サービス事業である。その活動件数を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	ふれあいサロン活動地区及び小地域福祉活動実践地区等の合計数				単位	地区
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
64		令和7年度	目標	44	64	73	82	
			実績	56	56	55	55	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		80	60	61	62	63	64	
実績	54	52	52					
指標の選定理由及び目標値の理由								
近隣住民が気軽につながりをつくるための取組みや、自主的に行う支えあい活動がどのくらい活発に行われているかを指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止ため、各種事業の中止、延期、縮小実施、小地域福祉活動実践地区の新規立ち上げの見送り等の影響があった。社会情勢を見ながら事業展開している社会福祉協議会に、引き続き補助を行い、墨田区内における社会福祉の増進に資していく。

課題・問題点

補助金 名称	社会福祉協議会補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	社会福祉法人に対する助成に関する条例		厚生課厚生係
補助概要	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。		03-5608-6150
目的	各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行うことにより、墨田区内における社会福祉の増進に資することを目的とする。		
対象	社会福祉法人墨田区社会福祉協議会		
基準	区独自基準		
補助条件	<p>地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。</p> <p>（社会福祉協議会の事業内容）</p> <p>【児童福祉事業、老人福祉事業、障害者福祉事業、車イス貸出事業、緊急援護事業等各事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業、応急小口資金貸付事業 ・すみだボランティアセンター、同分館のボランティア活動推進事業 ・すみだハート・ライン21事業 ・すみだ福祉サービス権利擁護センターの運営、各種事業 ・小地域福祉活動推進事業（小地域福祉委員会、ふれあいサロン、拠点型ふれあいサロン、おもちゃサロン） ・災害ボランティア活動体制の整備 		
経過	開始年度	昭和35年	終了予定
	昭和35年 墨田区社会福祉協議会発足 昭和37年 社会福祉法人の認可		
議会質問 の状況	[平成25年決特] 社協の生活支援員について		
その他 特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		10,128	18,831	238,752	220,335	220,881	221,809
決算額（令和5年度は見込み）		10,128	18,831	215,235	197,923	203,800	221,809
財源	国	1,647	2,246	15,236	5,000	5,000	7,000
	都			37,119	25,735	41,507	41,444
	その他						
一般財源		8,481	16,585	162,880	167,188	157,293	173,365
執行率（％）		100.0%	100.0%	90.2%	89.8%	92.3%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだハート・ライン21の活動件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		5,000	令和7年度	目標	4,550	4,600	4,650	4,700
				実績	4,889	5,233	4,549	3,995
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
		実績	2,931	3,163	3,474			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	すみだハート・ライン21事業は、高齢者や障害者などが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民の参加と協力により家事援助などを提供する有料の会員制在宅福祉サービス事業である。その活動件数を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	ふれあいサロン活動地区及び小地域福祉活動実践地区等の合計数				単 位	地区
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		64	令和7年度	目標	44	64	73	82
				実績	56	56	55	55
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		80	60	61	62	63	64	
実績		54	52	52				
指標の選定理由及び目標値の理由								
近隣住民が気軽につながりをつくるための取組みや、自主的に行う支えあい活動がどのくらい活発に行われているかを指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止ため、各種事業の中止、延期、縮小実施、小地域福祉活動実践地区の新規立ち上げの見送り等の影響があった。社会情勢を見ながら事業展開している社会福祉協議会に、引き続き補助を行い、墨田区内における社会福祉の増進に資していく。

課題・問題点

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す			部内優先順位
事業名	民生委員・児童委員協議会等経費				5
目的	民生委員・児童委員の連絡調整及び助成を行うことにより、民生委員・児童委員協議会(以下「協議会」という。)の事務を補助し、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員活動の自主的促進を図る。				主管課・係(担当)
					厚生課厚生係
					03-5608-6150
対象者	民生委員・児童委員及び主任児童委員				
根拠法令 関連計画	民生委員法				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2・非常勤1
事業内容	民生委員は、昭和23年に成立した民生委員法に基づき設置され、地域住民のもっとも身近な相談相手、専門機関へのパイプ役として様々な活動を行っている。その活動をサポートするために、各種研修周知や啓発物資の作成、協議会への補助等を行う。				
経過	開始年度				終了予定
	民生委員・児童委員及び主任児童委員の任期は3年であり、その都度大規模な入れ替わりがある。				
議会質問 の状況	[平成30年決特] 民生委員・児童委員の充足率について [令和2年決得] 民生委員・児童委員の成り手について				
その他 特記事項	他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年間スケジュール:令和4年度は会長会11回、会長副会長会1回、全体会8回、地区会2回を開催する。 関連部署:福祉保健部各課、子ども・子育て支援部各課、防災課、墨田区社会福祉協議会				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		5,984	7,289	6,014	5,824	6,752	5,829
A.決算額(令和5年度は見込み)		5,715	6,118	5,448	5,228	6,306	5,829
財源	国						
	都	1,536	1,517	2,666	2,700	2,815	3,060
	その他						
一般財源		4,179	4,601	2,782	2,528	3,491	2,769
執行率(%)		95.5%	83.9%	90.6%	89.8%	93.4%	100.0%
B.人コスト			9,843	5,322	6,157	10,181	
総事業決算額(A+B)		5,715	15,961	10,770	11,385	16,487	
予算書P(令和5年度)	P140-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P76-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	33	需用費	消耗品費	820	需用費	消耗品費	123
役務費	郵送料	199	役務費	郵送料	260	役務費	郵送料	206
負担金補助及び交付金	協議会運営費	4,995	負担金補助及び交付金	協議会運営費	5227	負担金補助及び交付金	協議会運営費	5500

事業の果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	全体会の開催				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		9	令和7年度	目標	8	6	6	9
				実績	8	6	6	8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	9	6	6	9
	実績	5	6	9				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	全体会は、区内の全ての民生児童委員が出席し、関係行政機関との連携を図り、委員活動に必要な情報提供が行われる重要な会議であるため。 なお、3年に1度の一斉改選年には、開催回数が増える。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	全体会への民生委員・児童委員出席率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		90	令和7年度	目標	90	90	90	90
				実績	88.8	87.5	89	86
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
実績	88	86	80					
指標の選定理由及び目標値の理由								
全体会の出席率を高めることが、委員同士の相互連携を深め、個人の資質向上、知識・技術の習得に資するため。目標値は、これまでの実績から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動をサポートするうえで、協議会の運営支援は、今後も必要不可欠な事業である。

課題・問題点
民生委員・児童委員の引き受け手がない地区が生じているため、委員活動の周知を強化するとともに、区と町会・自治会が連携し、協力して引き受け手を探すなどして、欠員地区の減少に努めていく必要がある。

補助金名	墨田区民生委員・児童委員協議会に対する補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区民生委員協議会補助金交付要綱		厚生課厚生係
補助概要	墨田民生委員・児童委員の拠り所となっている協議会の円滑な運営を図り、委員個々の活動をサポートするとともに、委員間の連携を育む。		03-5608-6150
目的	墨田民生委員・児童委員の拠り所となっている協議会の円滑な運営を図り、委員個々の活動をサポートするとともに、委員間の連携を育む。		
対象	墨田区民生委員・児童委員協議会		
基準	区独自基準		
補助条件	<p>補助金は、次の各号に掲げる経費に充てるものとする。</p> <p>(1) 東京都民生児童委員連合会、全国民生委員互助共励事業会及び全国民生委員児童委員連合会への納付金</p> <p>(2) 協議会が民生、児童委員の指導育成のために行う研修会の経費</p> <p>(3) 協議会の機関紙発行に必要な経費</p> <p>(4) その他区長が必要と認めるもの</p>		
経過	開始年度	昭和46年度	終了予定
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		5,658	6,024	5,485	5,500	5,507	5,572
決算額（令和5年度は見込み）		5,496	5,219	5,030	4,995	5,227	5,572
財源	国						
	都	1,536	1,517	2,666	2,700	2,815	2,513
	その他						
一般財源		3,960	3,702	2,364	2,295	2,412	3,059
執行率（％）		97.1%	86.6%	91.7%	90.8%	94.9%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	地区会				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		14	令和7年度	目標	14	28	28	14
				実績	14	28	28	14
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	28	28	14	28	28	14
		実績	16	18	14			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地区(7地区)ごとに開催され、地区内の情報・意見交換、必要な知識の習得が図れる会議であるため。 3年に1度の一斉改選期には、地区会の回数は減るが全体会の回数が増える。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	地区会への民生委員・児童委員の出席率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		90	令和7年度	目標	90	90	90	90
				実績	85	87	86	84
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		90	90	90	90	90	90	
実績		86	89	85				
指標の選定理由及び目標値の理由								
地区会への出席率が、個人の資質向上、自己啓発、知識・技術の習得に資するため。 目標値は、これまでの実績から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員活動は非常に重要で、協議会運営を円滑に行うことで、委員個々の活動サポートにつながるため、今後も必要な事業である。

課題・問題点
民生委員・児童委員の負担軽減のための支援策の研究。 民生委員・児童委員の成り手不足解消。

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す			部内優先順位
事業名	民生・児童委員施設見学会経費				6
目的	民生委員・児童委員の資質向上を図るため、先進的な取組をしている福祉施設等の見学を行う。				主管課・係(担当)
					厚生課厚生係
					03-5608-6150
対象者	民生委員・児童委員及び主任児童委員				
根拠法令 関連計画	民生委員法、墨田区民生委員・児童委員全体協議会要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2・非常勤1
事業内容	民生委員・児童委員の資質向上を目的とし、先進的な取組をしている福祉施設等の見学を行う。毎年、日帰りでの研修を行っているが、3年に1度の一斉改選期は宿泊を伴う。				
経過	開始年度	昭和50年		終了予定	
	平成28年度 ヴィラフォーレスタ森の家(介護老人保健施設) 平成29年度 エピコダックス(株)茨城選別工場(障害者の就労工場の視察) 平成30年度 清風園(特別養護老人ホーム) 令和元年度 沓掛学荘(児童養護施設) 令和2～4年度 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 令和2～4年度は施設見学会を中止したため、予算を減額した。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度は、宿泊を伴う施設見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		865	1,695	0	0	0	915
A.決算額(令和5年度は見込み)		582	1,277	0	0	0	915
財源	国						
	都	133	133	0	0	0	120
	その他						
一般財源		449	1,144	0	0	0	795
執行率(%)		67.3%	75.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト			984	0	0	0	
総事業決算額(A+B)		582	2,261	0	0	0	
予算書P(令和5年度)	P140-3	執行実績報告書P(令和4年度)					-

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	管外出張旅費	0	旅費	管外出張旅費	0	旅費	管外出張旅費	11
需用費	賄費・食糧費	0	需用費	賄費・食糧費	0	需用費	賄費・食糧費	176
役務費	通信運搬料	0	役務費	通信運搬料	0	役務費	通信運搬料	17
使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	0	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	0	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	711

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	施設見学会の開催				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	令和7年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	0	0	0				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設見学会を実施することで、研修機会の創出に資するため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	施設見学会の参加人数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
120		R7	目標	120	120	120	120	
			実績	100	122	120	104	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		120	120	120	120	120	120	
実績	0	0	0					
指標の選定理由及び目標値の理由								
委員の参加を促し、委員の見聞を深めることに資するため。 目標値は、これまでの実績から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により施設見学会を中止した。施設見学会は、民生委員・児童委員の資質向上等に有効な方法として必要性が高いため、感染症の動向を見ながら、今後の実施を検討していく。

課題・問題点
民生委員・児童委員の資質向上に向けて、施設見学会における研修内容の充実に努めていく。

施策	421	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する	部内優先順位
事業名	すみだボランティアセンター管理運営費		7
目的	すみだボランティアセンターの施設貸出及び維持管理を行うことにより、ボランティアの育成・活動支援を図り、福祉のまちづくりを推進する。		主管課・係(担当)
			厚生課すみだボランティアセンター 03-5608-6150
対象者	様々な活動をしているボランティア		
根拠法令 関連計画	すみだボランティアセンター条例		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤 0.4 非常勤 1.0
事業内容	すみだボランティアセンターの施設の貸出及び維持管理 (施設概要) ボランティア活動の拠点として、その活動を推進、援助する施設。ボランティア登録や相談を専門の相談員が受け付ける。 (施設内容) 学習室、グループ活動室1～3、講習室、録音室、多目的室		
経過	開始年度	昭和62年	終了予定
	昭和60年 7月 センター開所。区の委託を受けて墨田区社会福祉協議会が事業開始 昭和62年 4月 「ボランティアセンター運営事業」が社協の自主事業となる。(区から補助金交付) 平成 8年 4月 ボランティアセンター緑分館開設 平成18年 4月 指定管理者制度を導入 平成18年10月 緑分館が亀沢3-20-11に移転、名称を「すみだボランティアセンター分館」へ変更 令和 3年 4月 管理体制を、「指定管理」から「区直営」に変更		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和3年度から、本事業は指定管理者制度を廃止し、区直営管理としている。		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		73,388	44,380	27,333	28,483	24,808	40,729
A.決算額(令和5年度は見込み)		72,377	42,846	20,787	27,119	24,550	40,729
財源	国						
	都	8,023	2,583		248		
	その他			113			
一般財源		64,354	40,263	20,674	26,871	24,550	40,729
執行率(%)		98.6%	96.5%	76.1%	95.2%	99.0%	100.0%
B.人コスト			984	882	3,518	3,294	
総事業決算額(A+B)		72,377	43,830	21,669	30,637	27,844	
予算書P(令和5年度)	P137-13(1)(2)	執行実績報告書P(令和4年度)			P73-14(1)(2)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員報酬	2,584	報酬	会計年度任用職員報酬	2,584	報酬	会計年度任用職員報酬	2,594
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	517	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	517	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	519
需用費	光熱水費、消耗品費等	4,168	需用費	光熱水費、消耗品費等	5,667	需用費	光熱水費、消耗品費等	5,765
役務費	清掃、廃棄物収集運搬等	2,061	役務費	清掃、廃棄物収集運搬等	2,340	役務費	清掃、廃棄物収集運搬等	2,359
委託料	機械整備、機器類保守点検等	7,204	委託料	機械整備、機器類保守点検等	7,703	委託料	機械整備、機器類保守点検等	7,720
使用料及び賃借料	消火器の借上	52	使用料及び賃借料	消火器の借上	52	使用料及び賃借料	消火器の借上	52
工事請負費	空調機、高圧ケーブル更新工事等	10,506	工事請負費	非常放送設備改修、小破修繕等	5,335	工事請負費	空調機、小破修繕等	21,720
負担金補助及び交付金	社協立替電気料	27	備品購入費	音響機器一式	352			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	ボランティアセンター貸出施設の利用者数 (学習室、活動室、講習室の利用者数計)				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		22,500	令和7年度	目標	21,600	21,700	21,800	21,900
				実績	20,295	21,903	22,528	22,292
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	22,000	22,100	22,200	22,300	22,400	22,500
	実績	10,311	13,550	16,104				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	皆が役割を持ち支えあう地域共生社会の実現には、地域のボランティア活動及び、その基盤となるボランティアセンターの役割が不可欠である。ボランティア活動の一環としてボランティアセンターを利用する人の数を指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	手話・点訳・音訳・要約筆記講習会修了者				単位	人
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
1,000		令和7年度	目標	100	100	100	100	
			実績	94	84	85	97	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		100	100	100	100	100	100	
実績	8	26	71					
指標の選定理由及び目標値の理由								
各種講習会の修了者を指標とすることで、地域で活躍できる人材育成の効果がわかる。毎年100人の修了者を目指し、10年で累計1,000人の修了者(活躍できる人材)を目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止ため、令和3～4年度は、ボランティアセンターの休館、利用時間短縮、講座の参加者数制限を行った。</p> <p>現在、ボランティア活動者、及び、各種講習会の修了者はコロナ発生前より減であるが、徐々に回復しつつある。</p> <p>令和5年度は、コロナ収束傾向にあるため、参加者数の制限をなくして実施する予定である。社会情勢を見ながら施設管理業務を行い、区民が活動、利用しやすい環境を整え、ボランティアの育成、地域福祉の推進を図っていく。</p>

課題・問題点
<p>手話通訳・点訳・音訳・要約筆記、外国人の為の日本語教室、戦時中勉強できなかった方の勉強意欲を支える方等、様々な分野でボランティア活動は定着している。今後、更なる充実を図るため、「ボランティアだより」「SNS」等を活用して、活動や講座の周知を行い、センター利用者の拡大、活動者の増加に努めていく。</p>

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す			部内優先順位
事業名	墨田原爆被害者の会補助金				8
目的	区内の原爆被害者で組織される団体に対して、運営費の一部を補助することにより、恒久平和に寄与する団体の円滑な運営を促進する。				主管課・係(担当)
					厚生課厚生係
					03-5608-6151
対象者	墨田原爆被害者の会「墨田折鶴会」(以下「会」という。)(会員数34名)				
根拠法令 関連計画	地方自治法第232条の2				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	団体運営経費の一部補助 「すみだ平和・原爆写真展」の後援				
経過	開始年度	昭和59年度		終了予定	
	平成12年度 補助金額を減額				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) すみだ平和・原爆写真展:毎年8月に開催(令和4年度は3月に開催。令和2.3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。) 会は、東友会(東京都原爆被害者団体協議会)に加入				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		320	320	320	320	320	320
A.決算額(令和4年度は見込み)		320	320	257	320	320	320
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		320	320	257	320	320	320
執行率(%)		100.0%	100.0%	80.3%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			98	29	880	818	
総事業決算額(A+B)		320	418	286	1,200	1,138	
予算書P(令和5年度)	P137-14(2)	執行実績報告書P(令和4年度)			P73-15(2)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助金及び交付金	補助金	257	負担金補助金及び交付金	補助金	320	負担金補助金及び交付金	補助金	320

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	運営費補助金				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		320	令和7年度	目標	320	320	320	320
				実績	320	320	320	320
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	320	320	320	320	320	320
	実績	257	320	320				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会の運営を補助することで、公益性の高い会の活動を支援することになるため。目標値は、会の決算額から算出している。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	会の活動(定例会、写真展、平和式典参加)状況				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		15	令和7年度	目標	15	15	15	15
				実績	15	15	14	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15	15	15	15	15	15
実績	11	17	16					
指標の選定理由及び目標値の理由								
写真展開催や平和式典への参加状況等を通じ、活動内容を確認することができるため。目標値は、会の事業計画から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	原爆被害者支援の観点から、会の円滑な運営に資するものである。平和・原爆写真展の来場者数は年々増加していることから、引き続き会の運営を支援する。 写真展は毎年8月に開催(令和4年度は3月に開催。令和2.3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。

課題・問題点
戦後70年以上経過し会員の高齢化が進んでいるため、活動縮小となった場合は補助事業の見直し等が必要である。

補助金名	墨田原爆被害者の会補助金		主管課・係（担当）	
根拠法令	地方自治法第232条の2		厚生課厚生係	
補助概要	墨田原爆被害者の会「墨田折鶴会」運営事業補助（定例会、写真展、平和式典参加、研修等）		03-5608-6151	
目的	区内の原爆被害者で組織される団体に対して、運営費の一部を補助することにより、恒久平和に寄与する団体の円滑な運営を促進する。			
対象	墨田原爆被害者の会「墨田折鶴会」（以下「会」という。）（会員数34名）			
基準	区独自基準			
補助条件	事業実施計画書、事業報告書、決算報告書及び補助金に係る事業の予算・決算の証拠書類の提出			
経過	開始年度	昭和59年度	終了予定	
	平成12年度 補助金額を減額			
議会質問の状況				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) すみだ平和・原爆写真展:毎年8月に開催(令和4年度は3月に開催。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 会は、東友会(東京都原爆被害者団体協議会)に加入			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		320	320	320	320	320	320
決算額（令和4年度は見込み）		320	320	257	320	320	320
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		320	320	257	320	320	320
執行率（％）		100.0%	100.0%	80.3%	100.0%	100.0%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	運営費補助金				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		320	令和7年度	目標	320	320	320	320
				実績	320	320	320	320
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	320	320	320	320	320	320
		実績	257	320				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会の運営を補助することで、公益性の高い会の活動を支援することになるため。目標値は、会の事業計画から算出している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	会の活動（定例会、写真展、平和式典参加）状況				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		15	令和7年度	目標	15	15	15	15
				実績	15	15	14	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		15	15	15	15	15	15	
実績		11	17	16				
指標の選定理由及び目標値の理由								
写真展開催や平和式典への参加状況等を通じ、活動内容を確認することができるため。目標値は、会の事業計画から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	原爆被害者支援の観点から、会の円滑な運営に資するものである。 平和・原爆写真展の来場者数は年々増加していることから、引き続き会の運営を支援する。 写真展は毎年8月に開催(令和4年度は3月に開催。令和2.3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。

課題・問題点
戦後70年以上経過し会員の高齢化が進んでいるため、活動縮小となった場合は補助事業の見直し等が必要である。

施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す	部内優先順位
事業名	すみだひとり親さくら会補助金		9
目的	区内のひとり親世帯で組織する団体に対して、運営費の一部を補助することにより、地域福祉に寄与に寄与する同会の円滑な運営を促進する。		主管課・係(担当)
			厚生課厚生係 5608-6151
対象者	すみだひとり親さくら会(以下「会」という)		
根拠法令 関連計画	地方自治法第232条の2		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	団体運営費の一部補助		
経過	開始年度	昭和59年	終了予定
	平成12年度 補助金を減額 平成29年度 会の名称「墨田区母子寡婦さくら会」から「すみだひとり親さくら会」に変更		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 会は、「ひとり親Tokyo(東京都ひとり親家庭福祉協議会)」に加入		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		80	80	80	80	80	80
A.決算額(令和5年度は見込み)		80	80	80	80	80	80
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		80	80	80	80	80	80
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			98	29	880	818	
総事業決算額(A+B)		80	178	109	960	898	
予算書P(令和5年度)	p137-14(2)	執行実績報告書P(令和4年度)			P73-15(2)		

予算・決算の内訳(単位:千円)								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	80	負担金補助及び交付金	補助金	80	負担金補助及び交付金	補助金	80

事業の果	手段に対する指標(活動指標)	指標	運営費補助金				単位	千円	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
		80	令和7年	目標	80	80	80	80	
				実績	80	80	80	80	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	80	80	80	80	80	80	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		会の運営を補助することで、地域福祉に寄与する会の活動を支援することになるため。目標値は、会の決算額から算出している。							
		指標	会の活動(定例会、交流会、相談の家の電話相談)状況				単位	回	
最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1				
15	令和7年	目標	15	15	15	15			
		実績	15	15	15	15			
	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
目標	15	24	25	15	15	15			
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
交流会や相談会の実施状況を通じ、活動内容を確認することができるため。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	会の活動支援は、会員相互の交流や相談機会の創出に資するものであることから、引き続き会の運営を支援する。

課題・問題点
会員減少し、活動縮小となった場合は、補助事業の見直し等が必要である。

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	運営費補助金				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		80	令和7年	目標	80	80	80	80
				実績	80	80	80	80
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会の運営を補助することで、地域福祉に寄与する会の活動を支援することになるため。目標値は、会の決算額から算出している。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	会の活動（定例会、交流会、相談の家の電話相談）状況				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		15	令和7年	目標	15	15	15	15
				実績	15	15	14	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		15	24	25	15	15	15	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
交流会や相談会の実施状況を通じ、活動内容を確認することができるため。目標値は、会の事業計画から算出している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	会の活動支援は、会員相互の交流や相談機会の創出に資するものであることから、引き続き会の運営を支援する。

課題・問題点
会員が減少し、活動縮小となった場合は、補助事業の見直し等が必要である。